

arrows 5G F-51Aについて

arrows 5G F-51Aはドコモから発売された富士通製のスマートフォンです。Googleが提供するスマートフォン向けOS「Android」を搭載しています。本書では本機を「F-51A」と記載します。



arrows 5G F-51Aの特徴

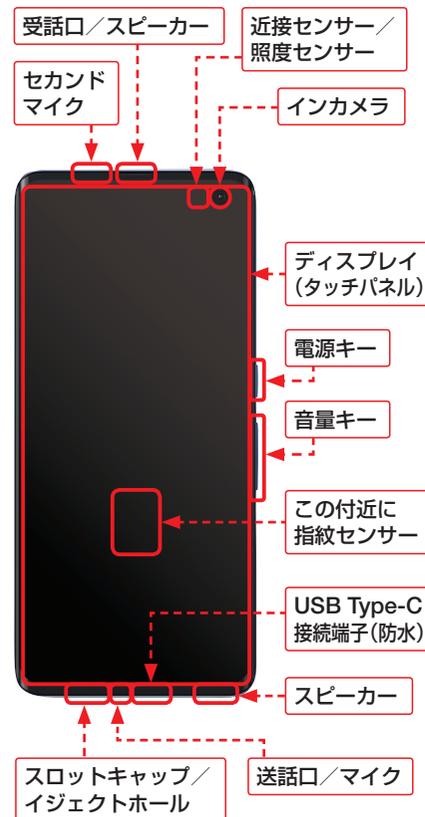


MEMO 端末を洗う際の注意

F-51Aは高い防水／防塵性能を有しているため、水とハンドソープや食器用洗剤（いずれも液体）を使用して端末ごと丸洗いすることができます。端末を洗う際には、市販のアクセサリ商品等を取り外し、スロットキャップがしっかりと閉じていることを確認しましょう。また、食器用洗剤を使用する場合は、原液を端末に直接つけず、必ず手のひらで泡立てましょう。洗った後は水分をしっかりと拭き取り、自然乾燥させましょう。

F-51Aの各部名称

正面



背面



MEMO 周辺機器について

F-51Aは、USB Type-Cケーブルを使って充電やデータの送受信を行います。何世代か前のAndroidスマートフォンやiPhoneから機種変更した場合は、それまで使っていたケーブルが利用できなくなるので注意しましょう。また、microSDカードはスロットキャップ内に差し込む必要があります。スロットキャップを開ける際は、本体の電源をオフにしておきましょう（P.11参照）。

ロックの解除と電源のオン／オフ

電源の状態にはオン、オフ、スリープの3種類があり、すべて電源キーで切り替えが可能です。一定時間操作しなかった場合は、自動でスリープモードに移行します。



1 ロックを解除する

- ① 端末側面の電源キーを押します。



- ② ロック画面が表示されるので、を上にスワイプします。なお、暗証番号や指紋認証を設定している場合は、画面の指示に従ってください (Sec.34参照)。



- ③ ロックが解除され、ホーム画面が表示されます。再度、電源キーを押すと、スリープモードになります。



MEMO スリープ

スリープは画面の表示を消す機能です。電源は入ったままで、すぐに操作を再開することができます。ただし、通信などを行っているため、その分電池を消費してしまいます。電池を消費したくない場合は、電源をオフにしましょう。

電源を切る

- ① 電源がオンの状態で、電源キーを長押しします。



- ② メニューが表示されるので、<電源を切る>をタップします。



- ③ 確認のダイアログが表示されるので、<OK>をタップすると、完全に電源がオフになります。電源をオンにするには、電源キーを長押しします。



MEMO 非常用節電モード

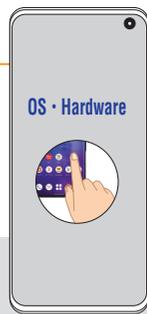
手順②の画面で<非常用節電モード>→<OK>をタップすると、端末が再起動し、非常用節電モードに切り替わります。非常用節電モードでは、端末の機能と設定が制限される代わりに、電池の消費を抑えられるので、充電できない状況が長時間続かさうな場合に活用しましょう。

非常用節電モードを設定する

- 非常用節電モードについて
 - ・端末を再起動し、非常用節電モードを設定します。
 - ・本モードは端末の機能や設定を制限することで電池を長持ちさせるモードです。
 - ・本モード設定中に制限されている機能は、設定画面の「非常用節電モード」で確認できます。

F-51Aの基本操作を覚える

F-51Aのディスプレイはタッチパネルです。指でディスプレイをタップすることで、いろいろな操作が行えます。また、本体下部のナビゲーションバーの使い方も覚えましょう。



1 ナビゲーションバーの操作



ナビゲーションバー

MEMO F-51Aのナビゲーションバー

他社のスマホと異なり、F-51Aのナビゲーションバーには「ホーム」「バック」「履歴」などのボタンアイコンがありません。ナビゲーションバーや画面の左右の端をスワイプすることで、ホーム画面やアプリ一覧画面に戻ったり、アプリを切り替えたりできます。

ナビゲーションバーの操作	動作
ナビゲーションバーを上方向にスワイプ	アプリの起動中の場合、そのアプリを起動したホーム画面またはアプリ一覧画面に戻ります。
ナビゲーションバーを上方向にスワイプしてそのまま止める	最近使ったアプリを表示します。画面を左右にスワイプしてアプリをタップすると、アプリを切り替えられます。
ナビゲーションバーから左右にスワイプ	最近使用したアプリに切り替えます。

2 タッチパネルの操作

タップ

タッチパネルに軽く触れてすぐに指を離すことを「タップ」といいます。同操作を2回繰り返すことを「ダブルタップ」といいます。



ロングタッチ

アイコンやメニューなどに長く触れた状態を保つことを「ロングタッチ」といいます。



ピンチアウト/ピンチイン

2本の指をタッチパネルに触れたまま指を開くことを「ピンチアウト」、閉じることを「ピンチイン」といいます。



スライド (スワイプ)

画面内に表示しきれない場合など、タッチパネルに軽く触れたまま特定の方向へなぞることを「スライド」または「スワイプ」といいます。



フリック

タッチパネル上を指ではらうように操作することを「フリック」といいます。



ドラッグ

アイコンやバーに触れたまま、特定の位置までなぞって指を離すことを「ドラッグ」といいます。



ホーム画面の使いかた

ここでは、ホーム画面の見かたや使いかたを覚えていきましょう。
 なお、本書では、ホーム画面を「docomo LIVE UX」に設定した状態で解説を行います。



1 ホーム画面の見かた

ステータスバー
 通知アイコンやステータスアイコンが表示されます (Sec.05参照)。

アプリ/フォルダ
 <dメニュー>などの各アプリのアイコンが配置されています。複数のアプリをフォルダにまとめることもできます。

アプリ一覧ボタン
 タップすると、アプリ一覧画面が呼び出され、F-51Aにインストールされたアプリを一覧表示できます。

カスタマイズエリア
 アプリやウィジェット、フォルダを配置できるエリアです。

マイマガジンボタン
 タップすると、さまざまなジャンルの記事を表示するサービス「マイマガジン」を利用できます (Sec.54参照)。

ドック
 ここに表示したアイコンは、ホーム画面上に常に表示されます。

2 ホーム画面を左右に切り替える

① ホーム画面は左右に切り替えることができます。まずはホーム画面を左方向にフリックします。



③ ホーム画面を右方向にフリックすると元に戻ります。

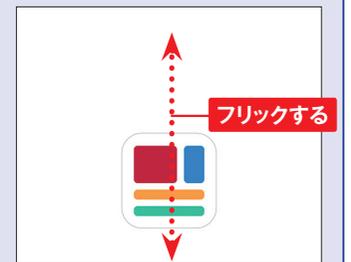


② ホーム画面が1つ右の画面に切り替わります。



MEMO マイマガジンを表示する

ホーム画面を上方向にフリックすると、「マイマガジン」を表示することができます (Sec.54参照)。「マイマガジン」からホーム画面に戻りたい場合は、画面を下方向にフリックします。



情報を確認する

画面上部に表示されるステータスバーからさまざまな情報を確認することができます。ここでは、通知される表示の確認方法や、通知を削除する方法を紹介します。



ステータスバーの見かた



通知アイコン

不在着信や新着メール、実行中の作業など、主にお知らせを通知するアイコンです。

ステータスアイコン

電波状況や電池残量など、主にF-51Aの状態を表すアイコンです。

通知アイコン		ステータスアイコン	
	不在着信あり		マナーモード (通常マナー)
	新着ドコモメールあり		持っている間ON設定中
	新着Gmailあり		電波の種類 (通信状況によってアイコンが変化します)
	伝言メモあり		電波の強さ
	新着+メッセージあり		電池残量
	表示しきれない通知あり		Bluetooth機器接続中

通知を確認する

① メールや電話の通知、F-51Aの状態を確認したいときは、ステータスバーを下にフリックします。



② 通知パネルが表示されます。削除したい項目を左右にスライドすると、通知項目を削除できます。

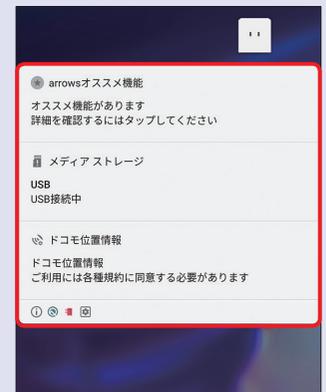


③ すべての項目を消去したいときは、<すべて消去>をタップします。上にフリックすると、通知パネルが閉じます。



MEMO ロック画面の通知

F-51Aではロック画面にも通知が表示されます。



パネルスイッチで設定を切り替える

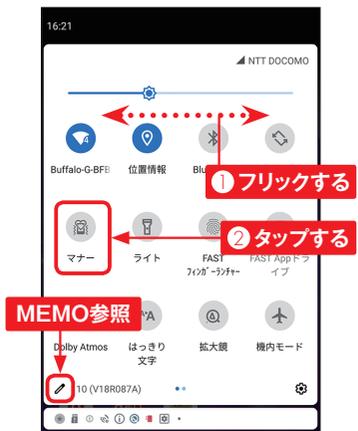
- ① 一部の設定は、通知パネルから切り替えることが可能です。ステータスバーを下にフリックします。



- ② 通知とパネルスイッチの一部が表示されます。パネルスイッチ部分を下にフリックします。



- ③ パネルスイッチ部分が広がります。左右にフリックして、任意のパネルスイッチをタップすると、F-51Aの設定を変更できます。ここでは、<マナー>をタップします。



- ④ マナーモードがオンになります。もう一度<マナー>をタップします。



MEMO 機能を追加する

手順③の画面で左下の✎をタップすると、パネルスイッチに表示させる機能を追加・削除する画面が表示されます。

- ⑤ マナーモードがオフになります。パネルスイッチ部分を上にフリックします。



- ⑥ 手順②の画面に戻ります。もう一度上にフリックすると、通知パネルが閉じます。

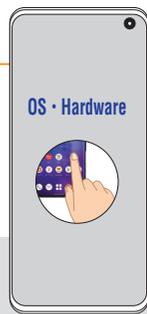


● パネルスイッチで管理できる主な機能

	モバイルデータ通信（パケット通信）のオン／オフ		位置情報（P.140参照）のオン／オフ
	はっきり文字のオン／オフ（P.70参照）		Bluetooth（P.186参照）のオン／オフ
	ブルーライトカットモードのオン／オフ（P.169参照）		マナーモードのオン／オフ
	伝言メモ（P.48参照）のオン／オフ		Wi-Fiテザリング（P.184参照）のオン／オフ
	NFCのオン／オフ（USB接続時は無効）		画面の自動回転のオン／オフ
	バッテリーセーバーのオン／オフ		機内モードのオン／オフ
	ライトのオン／オフ		拡大鏡のオン／オフ
	Wi-Fi（P.182参照）のオン／オフ		ダークテーマ（P.168参照）のオン／オフ

アプリを利用する

アプリ一覧画面には、さまざまなアプリのアイコンが表示されています。それぞれのアイコンをタップするとアプリが起動します。ここでは、アプリの終了方法や切り替え方法もあわせて覚えましょう。



1 アプリを起動する

- 1 ホーム画面を表示し、**ホーム**をタップします。



- 2 アプリ一覧画面が表示されます。任意のアプリ(ここでは<設定>)をタップします。



MEMO アプリの並べ替え

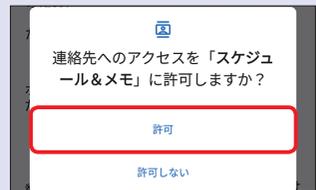
手順②で<つかった順>をタップすると、アプリを名前順などで並べ替えることができます。また、画面上部から検索も可能です。

- 3 「設定」アプリが起動します。画面の右端から左方向へスワイプすると、1つ前の画面に戻ります。



MEMO アプリのアクセス許可

アプリの初回起動時に、アクセス許可を求める画面が表示されることがあります。その際は<許可>をタップして進みます。許可しない場合、アプリが正しく機能しないことがあります。



2 アプリを切り替える・終了する

- 1 アプリの起動中やホーム画面でナビゲーションバーを上方向にスワイプし、画面の中央で指を止めます。



- 2 最近使用したアプリが一覧表示されます。画面を左右にフリックしてアプリをタップすると、そのアプリに切り替えることができます。終了したいアプリを上方向にフリックします。



- 3 フリックしたアプリが終了します。すべてのアプリを終了したい場合は、右方向にフリックし、一番左端の画面にある<すべてクリア>をタップします。



MEMO ホーム画面に戻る

アプリの画面からホーム画面に戻るには、ナビゲーションバーを上方向にスワイプします。



ウィジェットを利用する

F-51Aのホーム画面にはウィジェットを設置できます。ウィジェットを利用することで、情報の閲覧やアプリへのアクセスをホーム画面上からかんたんに行うことができます。



1 ウィジェットとは

ウィジェットは、ホーム画面で動作する簡易的なアプリのことです。情報を表示したり、タップすることでアプリにアクセスしたりできます。F-51Aには標準でさまざまなウィジェットがインストールされており、Playストア (P.132 参照) でウィジェットをダウンロードするとさらに多くの種類が扱えます。また、ウィジェットを組み合わせることで、自分好みのホーム画面を作成できます。



ウィジェットを設置すると、ホーム画面で天気や気温、スケジュールなどの情報をチェックできます。

アプリをすばやく起動するためのウィジェットもあります。

■ ウィジェットを追加する

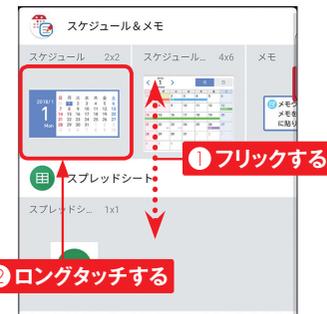
- 1 ウィジェットを追加したいスペースのある画面を表示し、画面をロングタッチします。



- 2 <ウィジェット>をタップします。



- 3 ウィジェットが一覧表示されます。一覧画面を上下にフリックし、追加したいウィジェットをロングタッチします。



- 4 配置したい場所で指を離すと、ホーム画面にウィジェットが追加されます。



MEMO ウィジェットの削除

ウィジェットを削除するには、ウィジェットをロングタッチして<削除>までドラッグします。



文字を入力する

F-51Aには、「テンキーキーボード」と「QWERTYキーボード」が用意されています。また、「上書き手書き入力」も利用できます。ここでは「メモ」アプリを例に解説します。



F-51Aのキーボード

テンキーキーボード



QWERTYキーボード



MEMO Super ATOK ULTIAS

F-51Aには、変換精度が高く使いやすい日本語入力ソフト「Super ATOK ULTIAS」が搭載されています。「Super ATOK ULTIAS」では、「テンキーキーボード」と「QWERTYキーボード」の2種類に加え、キーボード上をなぞって入力する「上書き手書き入力」も利用できます。使いやすいキーボード・入力方法を選びましょう。

「上書き手書き入力」を利用する

- ① テンキーキーボードの初期設定では「上書き手書き入力」がオンになっています。入力欄が左右にあり、キーボードの上をなぞって文字を入力します。
- ② 訂正したい場合は「<タッチで訂正>」を、続けて入力したい場合は「>」をタップします。
- ③ <をタップするか変換候補をタップすると、確定します。文字を削除したい場合は、✕をタップします。
- ④ 設定アイコンをタップすると、「上書き手書き入力」をオフにできます。



- ② 訂正したい場合は「<タッチで訂正>」を、続けて入力したい場合は「>」をタップします。

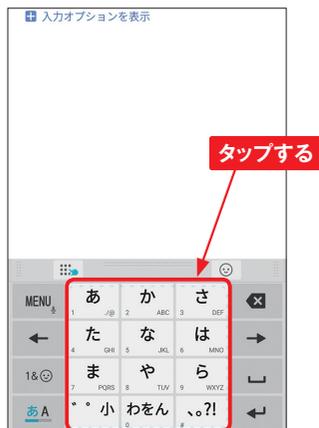
- ④ 設定アイコンをタップすると、「上書き手書き入力」をオフにできます。



テンキーキーボードで入力する

● ケータイ入力

- 1 テンキーキーボードは一般的な携帯電話と同じ要領で入力できます。**あ**を5回→**か**を1回→**さ**を2回タップすると、「おかし」と入力されます。



- 2 **あ**をタップすることにより「英字」と「かな」に入力が切り替わります。



● フリック入力

- 1 上書き手書き入力がオフのときは、「フリック入力」を行うこともできます。キーに触れたまま、入力したい文字の方向へフリックします。



- 2 フリックした方向の文字が入力されます。ここでは下にフリックしたので、「お」が入力されました。



● キーボードを切り替える

- 1 初期設定では、テンキーキーボードが表示されます。<MENU>をタップします。



- 2 <QWERTYキー>をタップします。



- 3 QWERTYキーボードが表示されます。



- 4 「英字」入力のときもQWERTYキーボードを使いたい場合は、**あA**をタップして英字に切り替え、手順①～②を参考にQWERTYキーボードに切り替えます。



MEMO 音声入力

<MENU>をロングタッチすると、音声入力に切り替わります。許可の設定を行い、「お話しください」と表示されたら、F-51Aに向かって話します。

